



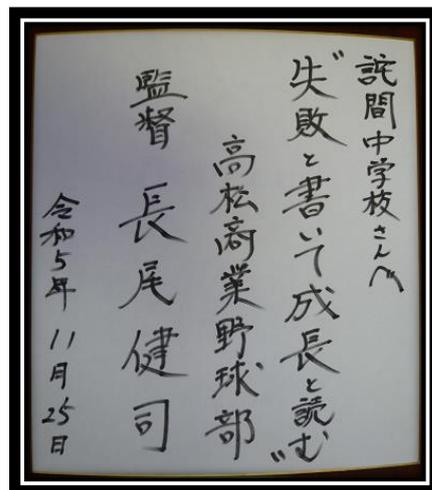
自走する学校

11月25日（土）浦島デーⅡ（人権同和教育学習・講演会）がありました。5校時の授業参観では、1年生「人の値うち」、2年生「たたかいは炎のように」、3年生「峠」の授業を行いました。保護者のみなさんも中学校時代には必ず人権同和教育の授業を受けていたと思います。今回の授業参観で生徒たちが真剣に考えたことをぜひご家庭でも話し合う機会にさせていただけると嬉しいです。

詫間中学校では、生徒の信条「限りなき前進を おのれの力を出しきって みんなの力を出しあって 日々心豊かにたくましく」教師の信条「日々を新たに日々に進む 生徒ひとりひとりをじっと見つめ 生徒とともに 生徒のために 教師としての己の最善を尽くす」の気持ちでこれからも取り組んでいきます。

さて、講演会では高松商業高等学校野球部監督の長尾健司先生が「自ら学び続け、成長する人材が育つためのマネジメント～自走するチーム作り～」という演題で講演していただきました。講演の中で出てきていた多くの言葉をもう一度紹介しておきます。

- 「失敗」と書いて「せいちょう」と読む
- まずは、トップやリーダーが変わる！
- メンバー一人ひとりが、自律的に考え、行動し、仲間を助けながら
自ら学習、成長する集団
- 「価値ある答え」は「考えた答え」であり「正しい答え」ではない
- 「勝ちたい」→「勝たせたい」→「幸せにしたい」
- 「センターコントロール（上からの命令）」から「ミッション
コマンド（目標設定→任せる）」
- 気づき（1年生）→反応する（2年生）→やれる力（3年生）
- 一人ひとりが人間的に成長→よいチームワーク→強いチーム
- 「失敗」したことを叱るのではなくまず「挑戦」したことをほめる！
- 環境を整える 体を整える マインドを整える
- 幸せ（フロー）になる技術を！
- 「奪う人」から「与える人」へ 勝利の女神は、謙虚と笑みを好む
- トップが変わる 「成長マインド」を文化に取り込む
おもしろおかしく「大いに楽しむ」
- 「どんなことから学びがある」「成長の機会はどこにでもある」



長尾先生は、講演会后、校長室で「これからの詫間中学校の成長を楽しみにしています」と話してくれました。この講演会をただただ楽しかったで終わらせてはいけません。11月25日（土）の午前中は、レクザムボールパーク丸亀で高等学校1年生大会の決勝戦を戦っていた先生が、詫間中学校のために急いで駆けつけてくれたのです。長尾先生の車の中には、野球道具がぎっしりと積み込まれていました。

私たちは、これまで高松商業高等学校の野球部の成長を注目していましたが、そのチームの監督から「成長を楽しみにしています」と言われたのです。50分の講演の間にみなさんは、長尾先生にきっと何かを感じさせたのだと思います。高松商業高校野球部以上に「自走する学校」をみんなで作っていきましょう。なんせ詫間中学校は、「凡事徹底」のもとに「超一流」が集まり「日本一」を目指している学校ですから。